

これはアストラゼネカ英国本社が2003年10月23日に発信したプレスリリースの日本語訳です。
日本で未発売の製品については英語表記のままとする。

AstraZeneca PLC

2003年第3四半期・9ヶ月間業績

「第3四半期の好業績の貢献により9ヶ月間の売上高2%伸長；

主要成長製品は56%伸長：通年利益は予想レンジの上限をやや上回る予想」

ファイナンシャルハイライト

グループ	第3四半期	第3四半期	前年	恒常	9ヶ月間	9ヶ月間	前年	恒常
	2003	2002	同期比	為替	2003	2002	同期比	為替
	100万ドル	100万ドル	%	%	100万ドル	100万ドル	%	%
売上高	4,803	4,282	+12	+5	13,974	12,940	+8	+2
営業利益	1,101	921	+20	+6	3,262	3,282	-1	-7
税引前利益	1,119	923	+21	+7	3,333	3,306	+1	-6
1株当たり利益	\$0.47	\$0.39	+20	+6	\$1.40	\$1.39	+1	-6

伸び率は恒常為替レート (CER)

- 9ヶ月間（1月 - 9月）の売上高は、Prilosec™（日本での製品名：オメプラール）、ゼストリル、ノルバデックスの米国における19億ドルの売上減にもかかわらず、2%伸長しました。
- 9ヶ月間の営業利益は7%減少しました。
- 9ヶ月間の主要成長製品ならびに発売製品の売上高は56%増の60億ドルでした。
- 第3四半期の売上高は5%増でしたが、日本、ドイツ、イタリアおよびカナダの売上は二桁成長を果たしました。
- 第3四半期の営業利益は6%増加しました。
- 9ヶ月間のCrestor™ の売上高は、8月12日のFDA承認後米国における第3四半期の売上5,600万ドルを含む8,800万ドルでした。10月10日までの米国のスタチン市場の新規処方におけるCrestor™ のシェアは1.9%に達しました。
- 9ヶ月間のイレッサの売上高は、5月中旬の上市後米国での売上5,400万ドルを含む1億3,600万ドルでした。
- 9ヶ月間のNexium™ の売上は86%増の25億ドルに達しました。米国の第3四半期の売上（114%増）は卸在庫の増加を反映しています。
- 9ヶ月間のセロクエルの売上高は31%増の11億ドルでした。

最高経営責任者トム・マキロップ卿は次のように述べました：「2003年9ヶ月間(1月 - 9月)の主要成長製品ならびに発売製品の売上高が56%増加し、イレッサとCrestor™ が米国で発売直後好調に推移していることから、売上げが後発品の攻勢による売上減を上回り、最高レベルの財務実績を達成する基盤を固めました」

2003年10月23日 ロンドン発

Media Enquiries:	Steve Brown/Edel McCaffrey (London)	(020) 7304 5033/5034
	Staffan Ternby (Södertälje)	(8) 553 26107
	Rachel Bloom (Wilmington)	(302) 886 7858
Analyst/Investor Enquiries:	Mina Blair-Robinson (London)	(020) 7304 5084
	Jonathan Hunt (London)	(020) 7304 5087
	Staffan Ternby (Södertälje)	(8) 553 26107

ビジネスハイライト 伸び率は恒常為替レート(CER)9ヶ月間(1月 - 9月)

9ヶ月間の売上高は、米ドル安により恒常為替ベースの成長率プラス2%が6ポイント引き上げられ、売上成長率はプラス8%となりました。成長製品ならびに新発売製品の全世界の売上高は56%増の59億8,900万ドルでした。研究開発費および販売費・一般管理費合計は5%増でしたが、為替の影響を含む報告ベースでは12%増となりました。営業利益は恒常為替ベースで7%減でしたが、為替変動により6ポイントのプラスの影響があり、1%減でした。9ヶ月間の1株当たり利益は1.40ドルで、2002年は1.39ドルでした。

9ヶ月間の米国の売上高は、Prilosec™、ゼストリルならびにノルバデックスの米国の売上が19億ドル減少したにもかかわらず、わずか1%減にとどまりました。その他の製品は引き続き堅調で、前述の3製品を除く米国の売上高は47%（卸在庫の変動による影響を排除すれば推定36%）伸長しました。9ヶ月間の米国以外の市場で売上高は5%増でしたが、アジアパシフィックの売上高は18%増という高成長を果たしました。欧州の売上高は、数量ベースの成長が継続的な価格低下により相殺され、増減はありませんでした。

9ヶ月間のNexium™の売上は86%伸長しました。米国以外の売上は75%増、米国の売上は第3四半期の卸在庫増によってややプラスの影響を受け88%増でした。米国の9月までのNexium™の処方方は52%増加しました。米国PPI市場の処方総数におけるシェアは9月に23.2%で、すべてのオメプラゾール製品の処方総数を上回りました。

9ヶ月間のイレッサの売上高は1億3,600万ドルに達しました。5月に上市した米国での売上高は5,400万ドルでした。9月末までに、米国で、イレッサに関し22,000枚を超える小売処方箋が調剤されました。

9ヶ月間のCrestor™の売上は、8月12日のFDA承認後の米国における売上5,600万ドルを含む8,800万ドルに達しました。10月10日までの週で、米国のスタチン市場の新規処方におけるCrestor™のシェアは1.9%でした。Crestor™は現在30カ国で承認され、13ヶ国で発売されています。

ポートフォリオの転換に重要な役割を果たしているその他の製品の売上状況については、Symbicort™の売上は69%増の3億7,700万ドルでした。がん領域ではカゾデックス（30%増）およびアリミデックス（46%増）の売上が大きく伸長しました。セロクエルの売上は31%増の11億ドルでした。当社は、両極性障害を伴う躁病の治療薬としてセロクエルの適応拡大の申請に関して欧州相互認証手続きを完了したことを10月13日に発表しました。

第3四半期

第3四半期の報告ベースの売上成長率は、米ドル安により引き上げられ、12%でした。恒常為替ベースでの売上高は5%増でした。営業利益は恒常為替ベースで6%増でしたが、報告ベースの営業利益は米ドル安と為替ヘッジの利益により20%増でした。製品発売に関わる販売費・一般管理費増が主要因となり、研究開発費および販売費・一般管理費合計は恒常為替ベースで7%（報告ベースでは15%）の増加となりました。第3四半期の1株当たり利益は恒常為替ベースで6%増の0.47ドルでした。

米国の売上高は、2002年第3四半期の業績が低調であった(セロクエルとToprol-XL™の卸在庫減による)こと、および9月の価格引き上げに先立つ当期Nexium™の卸在庫が増大したことなどにより、4%伸長しました。後発品が売上を伸ばしている結果、Prilosec™（74%減）、ゼストリル（73%減）、ノルバデックス（92%減）の売上は引き続き減少しました。これら3製品を除く米国の売上高は報告ベースで59%伸長しました（当四半期および前年同期の在庫変動調整後需要ベースで推定39%増）。

当四半期米国以外の売上高は、Nexium™、Symbicort™、カゾデックスおよびセロクエルが大幅に成長し、7%伸長しました。日本（14%）、フランス（8%増）、ドイツ（12%増）、イタリア（12%増）およびカナダ（12%増）において良好な売上成長率を達成しました。

今後の見通し 伸び率は恒常為替レート（CER）

現在の為替レートが年末まで変わらないとの前提で、当社は、通年の1株当たり利益を1.65ドルから1.75ドルの範囲の上限あるいはそれをやや上回るものと考えています。

注意: 当社の利益やビジネスの見通しに対する上記の予測的な記述はリスクや不確実要素をともなっており、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。たとえば、米国におけるオメプラゾールの後発品の売上伸び率、新製品の承認取得ならびに上市の成否（とくにCrestor™、イレッサ、Exanta™）を含む既存製品の継続的成長、コストや経費の増加、利息率の動き、為替レートの変動、税率などがリスクや不確実要素です。これらやその他のリスクや不確実要素については、2002年アニュアルレポートForm20-Fを含む証券取引委員会への有価証券報告書をご覧ください。

売上高

伸び率は恒常為替レート (CER)

消化器

	第3四半期		CER %	9ヶ月間		CER %
	2003	2002		2003	2002	
Losec™/Prilosec™ (オメプラール)	631	1,200	-52	2,037	3,508	-46
Nexium™	1,000	481	+102	2,466	1,292	+86
Total	1,649	1,696	-8	4,556	4,845	-10

- Nexium™の9ヶ月間の売上高は米国以外の市場で75%増加し、欧州（68%増）ならびにカナダ（100%増）が好調で、オーストラリアでは上市が成功しました。
- Nexium™の米国における9ヶ月間の売上高は88%増の18億9,200万ドルでした。米国のPPI市場の処方総数は9月までに13.5%伸びましたが、Nexium™の処方数は52%伸びました。米国のPPI製品の処方総数におけるNexium™のシェアは9月には23.2%に達し、全オメプラゾール製品合計の処方総数を上回りました。
- Nexium™の米国における第3四半期の売上高は、9月15日に実施された値上げに先立ち卸在庫が増大したため、114%増加しました。第3四半期末の流通業者の在庫は通常レベルを約1億ドル上回ると当社は推測しています。
- Nexium™の静脈内注射剤は8月にスウェーデンの薬事当局に初めて承認されました。スウェーデンは欧州相互認証手続きによる承認申請プロセスにおいて幹事国となります。米国食品医薬品局（FDA）に対する本剤型の承認申請は9月に行われました。
- Prilosec™の米国における売上高は第3四半期には74%減、9ヶ月間には64%減でした。9月までで米国での処方総数は66%減でした。オメプラゾールの処方総数におけるPrilosec™のシェアは9月に31%でした。
- Losec™の米国以外の市場での9ヶ月間の売上高は18%減でしたが、日本の売上は力強く伸長し、42%増を達成しました。

循環器

	第3四半期		CER %	9ヶ月間		CER %
	2003	2002		2003	2002	
Seloken™ / Toprol-XL™ (セロケン)	286	201	+37	1,034	638	+58
Atacand™	185	131	+29	543	409	+23
Plendil™	144	147	-7	383	350	+4
(スプレンジール)	116	187	-44	342	733	-58
Zestril™ (ゼストリル)						
Crestor™	76	-	n/m	88	-	n/m
Total	984	840	+9	2,920	2,675	+2

- Toprol-XL™の米国市場のベータブロッカーの処方総数におけるシェアは引き続き着実に伸び、9月には25.6%に達しました。米国での処方総数は9月までに27%伸びました。米国の9ヶ月間の売上高は、第

3 四半期に卸在庫がやや減少しましたが、需要を上回り76%増加しました。

- セロケンの米国以外の売上高は第3 四半期には34%増、9ヶ月間には19%増でした。
- Atacand™ 製品の米国における処方総数は9月までに11%増、9ヶ月間の売上高は30%増でした。米国の第3四半期の売上高は、2002年第3 四半期に卸在庫が減少したため、62%増加しました。
- Atacand™ の米国以外の売上高は、第3 四半期は16%増、9ヶ月間では18%増でした。
- 8月に、欧州心臓病学会の年次総会で発表されたCHARM(Candesartan in Heart failure—Assessment of Reduction in Mortality and morbidity : カンデサルタンの心不全患者の死亡率・入院率に対するプラセボ比較試験)プログラムのデータはAtacand™ が広範囲な慢性心不全患者の心血管死および心不全による入院を減少させることを示しました。Atacand™ は、ACE阻害薬投与の有無とは関係なく、左室機能低下をもつ慢性心不全患者の生存期間を延長する唯一のアンジオテンシンII受容体拮抗薬です。
- Crestor™ の9ヶ月間の売上高は、8月12日にFDAの承認取得後の米国での売上高5,600万ドル含む8,800万ドルに達しました。包括的な製品サンプリングプログラム (the Reach for Crestor™) が9月15日の本格的な発売に先立って実施されました。10月10日に終わった週、米国スタチン市場の新規処方におけるCrestor™ のシェアは1.9%でした。
- 早期発売の市場において、Crestor™ はスタチン市場のダイナミックセクター (新規処方および他の製剤からの切り替え) で急速に浸透したため、スタチンクラスの処方全体のマーケットシェアに、影響を与え始めました。最新の週間トラッキングデータによれば、Crestor™ はカナダ(民間支払いの市場)で処方全体の7.1%のシェアを獲得しました。Crestor™ はオランダのスタチン処方全体の6.5%のシェアを持ち、英国でのシェアは1.9%に上昇しました。
- 当社は、20万人を超える患者が今日までにCrestor™ による治療を受けていると推定しています。市販後調査により、同剤の安全性は他の市販されている製品と同様であることが確認されています。

呼吸器

	第3 四半期		CER %	9ヶ月間		CER %
	2003	2002		2003	2002	
Symbicort™	128	72	+54	377	194	+69
Pulmicort™ (パルミコート)	184	149	+14	674	575	+10
Rhinocort™	86	79	+6	272	223	+19
Accolate™ (アコレート)	20	27	-30	76	92	-19
Oxis™	31	30	-10	91	91	-12
Total	485	391	+14	1,600	1,281	+16

- Symbicort™ の9ヶ月間の売上高は、同剤が急成長を遂げているステロイドとベータアゴニストの配合剤市場に引き続き浸透したため、69%増の3億7,700万ドルでした。2月にSymbicort™ は、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の治療薬として欧州で承認を取得したこのクラスの最初の製品となりました。当社は、本年末までに、同剤の成分であるブデソニドとフォルモテロールのユニークな薬理学的特性を利用して、喘息のシングル吸入器治療薬としてSymbicort™ の承認申請を欧州で行う予定です。
- Pulmicort™ Respules™ の米国での処方総数は9月までに34%伸びました。この処方の伸長に平均処方サイズの増大と価格変更が加わり、米国でのPulmicort™ の売上高は9ヶ月間で44%増加しました。米国での第3四半期の売上増 (71%) は2002年第3 四半期のPulmicort™ Respules™ と Pulmicort™ Turbuhaler™ の卸在庫の減少を反映しています。
- Rhinocort™ の米国の売上高は、Rhinocort™ Aquaの売上増がRhinocort™ Nasal Inhalerの販売中止による売上減を上回ったため、9ヶ月間で29%伸長しました。Rhinocort™ Aquaの処方総数は米国市場で9月

までに31%伸びました。

オンコロジー（がん領域）

	第3四半期		CER %	9ヶ月間		CER %
	2003	2002		2003	2002	
Casodex™ (カソデックス)	230	189	+12	647	460	+30
Zoladex™ (ゾラデックス)	224	206	-	630	588	-1
Arimidex™ (アリミデックス)	136	95	+32	372	239	+46
Iressa™ (イレッサ)	70	26	+165	136	26	n/m
Faslodex™	19	11	+73	56	19	+195
Nolvadex™ (ノルバデックス)	38	85	-59	138	342	-62
Total	722	615	+9	1,993	1,688	+10

- カソデックスの売上高は、欧州（25%増）と日本（27%増）が好調であり、9ヶ月間で米国以外の市場で26%増加しました。第3四半期は米国以外の市場で32%増加しました。
- 米国におけるカソデックスの需要は、進行前立腺がん治療薬としての抗アンドロゲン市場の成熟を反映して、ほとんど変化はありませんでした。同市場における処方全体のカソデックスのシェアは9月に82.9%でした。米国市場で報告された売上成長率は卸在庫の変動に大きく影響を受けています。第3四半期の売上高は、前年第3四半期の卸在庫の増大が影響し、23%減少しました。1 - 9月の売上高（40%増）は9月末の卸在庫のレベルが依然として高いことを示しています。
- アリミデックスの売上高は、閉経後早期乳がんの初回ホルモン治療剤としての受け入れが引き続き良好で、9ヶ月間で46%伸長しました。アリミデックスはこの適応でタモキシフェン以上の有効性を示す唯一の薬剤です。
- 第3四半期に米国でアリミデックスの卸在庫がやや増加しました。売上高は2002年第3四半期の好調な売上に対して27%伸長しました。米国の9ヶ月間の売上高は、9月までの処方総数の伸び(52%)と概ね一致する、50%増を示しました。
- イレッサの売上高は9ヶ月間で1億3,600万ドルに、第3四半期は7,000万ドルに達しました。第3四半期の日本の売上高は2,700万ドルで、本年最高の四半期売上となりました。
- イレッサの米国の売上高は、第3四半期の売上高3,600万ドルを含み、5月に上市されてから合計5,400万ドルでした。9月単月で、6100枚の小売処方箋が調剤され、上市以来の処方総数は22,000枚に達しました。
- Faslodex™の売上高は米国市場における進行乳がん治療薬としての使用が着実に伸びていることを反映しています。

中枢神経

	第3四半期		CER %	9ヶ月間		CER %
	2003	2002		2003	2002	
Seroquel™ (セロクエル)	345	196	+71	1,059	788	+31
Zomig™ (ゾーミグ)	83	68	+12	245	234	-2
Total	433	272	+52	1,324	1,045	+23

- セロクエルの米国における第3四半期の売上高は、増大していた卸在庫のレベルが低下した2002年第3四半期に対し、79%伸長しました。9ヶ月の売上高は25%伸びましたが、9月までに35%増の処方の

伸びを依然として下回っています。米国の処方全体のシェアは抗精神薬市場の20.6%(過去最高)に達しました。

- セロクエルの米国以外の市場での9ヶ月間の売上高は、日本(118%増)ならびに欧州(42%増)が好調で、54%伸長しました。米国以外の市場での第3四半期の売上高は50%伸長しました。
- 当社は、両極性障害を伴う躁病の治療薬としてセロクエルの適応拡大の申請に関して欧州相互認証手続きを完了したことを10月13日に発表しました。米国の同適応に関する承認申請は現在審査中です。
- ゾーミッグの米国以外の市場での売上高は、Zomig™ Rapimelt™の成長ならびにZomig™ Nasal sprayの8カ国における上市に促進され、9ヶ月間で8%増、第3四半期には13%増でした。
- ゾーミッグの米国の売上高は9ヶ月で12%減、第3四半期には卸在庫の変動により10%増でした。
- Zomig™ Nasal SprayはFDAの承認を9月30日に取得しました。また、9月にアストラゼネカはMedpointe Inc(スペシャリティ医薬品会社)とゾーミッグに関するプロモーション・販売契約を締結しました。この契約により、米国において、Zomig™ Nasal Sprayを含むゾーミッグブランドの一連の処方医薬品をMedpointe Inc.が2004年1月1日からプロモーションならびに販売します。

疼痛、感染症、その他

	第3四半期		CER %	9ヶ月間		CER %
	2003	2002		2003	2002	
Merrem™	88	75	+9	242	216	+8
Diprivan™(ディプリバン)	105	104	-5	339	326	-1
Xylocaine™(キシロカイン)	47	43	+2	135	128	+1
Marcaine™(マーカイン)	23	19	+16	65	54	+14
Total	414	344	+12	1,188	1,043	+8

- ディプリバンの9ヶ月間の売上高は、米国ではプロポフォル市場の伸びにより、8%伸長しましたが、米国以外の市場では9%減少しました。

地域別売上高

	第3四半期		CER %	9ヶ月間		CER %
	2003	2002		2003	2002	
米国	2,271	2,190	+4	6,703	6,787	-1
欧州	1,662	1,379	+3	4,863	4,167	-
日本	297	251	+14	833	663	+18
その他の地域	573	462	+16	1,575	1,323	+17

- 米国の9ヶ月間の売上高は1%減少しました。後発品の攻勢を受けている3製品を除くその他の製品に対する需要は高く、約36%と推測しています(卸在庫変動調整後)。
- 欧州の9ヶ月間の売上高は、Nexium™, Symbicort™, セロクエルおよびオンコロジー製品の堅調な売上増が、Losec™とゼストリルの売上減ならびに5月末のMarlow Foodsの売却によって相殺され、増減はありませんでした。
- 日本の9ヶ月間の売上増は、オメプラール(42%増)ならびに特にカソデックスとイレッサが貢献したオンコロジー製品群(21%増)によって促進されました。

営業レビュー

伸び率は恒常為替レート (CER)

9ヶ月間

報告ベースで売上高は8%増、営業利益は1%減でした。恒常為替ベースで、売上は2%増、営業利益は7%減でした。米ドル安のプラス影響は、為替ヘッジによる利益とスウェーデンクローンおよびポンドを上回るユーロ高の結果（ユーロ高は売上にプラス影響、クローン高とポンド高はコストにマイナス影響）、営業利益にも及びました。

営業利益率は昨年より2.1ポイント減少し23.3%でした。全体的に為替の利益率に対する影響はありませんでした。売上総利益率は0.8ポイント改善され75.6%でした。これは、メルク社への支払い比率の低下という好影響が売上原価の上昇によって相殺された結果です。研究開発費と販売費・一般管理費は引き続き厳しく管理され(合計で恒常為替ベース5%増)、対売上比率はそれぞれ0.4ポイント増、1.6%ポイント増となりました。その他営業利益は前年に比べ大幅に低く、営業利益率減少を0.8ポイント減少させました。

第3四半期

報告ベースで売上高は12%増、営業利益は20%増でした。恒常為替ベースでは、売上高は5%増、営業利益は6%増でした。米ドル安の影響が売上に対するよりもコストに対して小さかったこと、および為替ヘッジの利益が増えた結果、為替変動は売上よりも利益に対しより大きなプラス影響を与えました。

営業利益率は前年比1.4ポイント増の22.9%でした。売上総利益率は1.5ポイント改善されて75.5%でしたが、その改善の主要因は為替の変動でした。メルク社への支払い比率の低下によるプラスの影響は、過剰製造設備処分引当金によってほとんど相殺されました。研究開発費、販売費・一般管理費については、主に後者の上昇が原因で、恒常為替ベースで7%増加しました。販売費・一般管理費合計は対売上比で2ポイント上昇しました。その他収入は利益率に1.1ポイント貢献しました。

卸在庫

卸在庫の状況は当社の報告ベースの売上高に引き続き影響を及ぼしています。第2四半期に報告した通り、第1四半期に見られた価格の引き上げに先立つ卸による投機的な購入の影響はある程度解消され、当社は、卸在庫が正常なレベルを約2億ドル上回るレベルまで減少したと推測していました。当四半期は、ある程度の在庫増がみられ、卸在庫は、通常レベルを約3億ドル上回るレベルにあり、この超過分のほとんどがNexium™とToprol-XL™であると推測しています。

利息

利息収入は第3四半期には1,800万ドル（2002年は200万ドル）、9ヶ月間では7,100万ドル（2002年は2,400万ドル）でした。

税金

実効税率は、2003年第3四半期、1月 - 9月の9ヶ月間ともに27.5%でした。2002年は、それぞれ、26.3%と26.8%でした。

キャッシュフロー

例外項目調整前の営業活動によるキャッシュフローは本年9ヶ月間には前年同期の41億3,500万ドルから

35億3,200万ドルに減少しました。数件の高額債務の決済ならびに売上が期末に集中したことに一部起因する債権による運転資本の増加が原因です。例外項目の現金支出は、2002年には7,400万ドルでしたが、今期は、ゾラデックスの調査に関わる和解金等の支払い（上半期業績発表時に公表）を含む3億8,700万ドルでした。納税額は、米国の納税時期が昨年よりも早かったため、2002年同期に比べて3億2,900万ドル高い10億700万ドルでした。正味設備投資額は、前年同期と比べて大きな変化はなく9ヶ月間で総額10億200万ドルでした。買収・売却に関する8,000万ドルのキャッシュフローは第2四半期のMarlow Foodsの売却によるものです。

7億7,000万ドルの配当支払いおよび5億100万ドルの株の買い戻し費用を差し引き、正味キャッシュファン드는5,900万ドル増加しました。正味キャッシュファン드는2003年9月30日現在で39億300万ドルでした。

株の買い戻しプログラム

当四半期中に総額2億9,600万ドルで普通株式690万株が買い戻され消却されました。その結果、本年9ヶ月間の買戻しは総額6億700万ドルで1,550万株となりました。

本プログラムがスタートしてから、買い戻し消却された株の総数は8110万株、買い入れ総額は34億1,200万ドルとなりました。2003年9月30日現在、発行株式数は17億600万株です。

今後のマイルストーンおよび主なイベント

2004年1月29日 2003年度年間業績発表

トム・マキロップ卿
最高経営責任者